

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

研究課題名	経口がん分子標的治療薬の投与量並びに適正使用に関する実態調査			
実施予定期間	倫理審査委員会承認後～ 2013年 3月			
対象患者	対象期間中に山口大学医学部附属病院を受診し、経口分子標的治療薬であるタルセバ錠を服用した患者さん			
対象期間	2012年 2月1日 ～ 2012年 6月30日			
実施診療科	放射線科			
研究責任者	氏名	大坪泰昭	所属	薬剤部
使用する資料等	カルテや薬剤部システムのデータ(投与量、年齢、性別、身長・体重(体表面積)、がん種、併用抗悪性腫瘍薬、初回・継続投与、増減量・中止理由、増減量前後の腫瘍マーカー(CEA値)、用法)、患者さんの服薬状況アンケート			
研究の意義	多くの経口がん分子標的治療薬の標準的な投与量は海外とほぼ同じですが、本邦では副作用のため減量を余儀なくされている患者さんも多いことが報告されています。このような状況の中、本研究において実際に使用されている投与量や減量されている状況、それぞれの患者さんの背景因子(特徴)、服薬状況との関連性を調査することにより、薬剤師による患者さんへの服薬指導に有益な情報を得るだけでなく、処方適正化について医師と協議する際にも重要な基礎情報を得ることが期待されます。			
研究の目的	経口がん分子標的治療薬の投与量の減量が必要な患者さんの特徴を見つけることを目的としています。			
研究の方法	カルテ等から経口分子標的治療薬の投与状況や患者さんの背景情報を収集し、これに服薬状況を加味して統計的な解析を行います。			
倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日		
結果の公表	学会報告や査読のある学術雑誌に論文発表、日本病院薬剤師会ホームページにて公表をする予定です。			
個人情報の保護	情報は大学内の研究責任者のコンピュータ内で保管し、論文発表時には個人が特定されないように集団のデータとして発表します。			
知的財産権	本研究で発生した知的財産権は研究グループに帰属します。			
利益相反	本研究に伴う利益相反はありません。			
問い合わせ先	山口大学医学部附属病院薬剤部 担当：大坪泰昭			
	電話	0836-22-2666	FAX	0836-22-2798